

あいりん地域のまちづくり第5回駅前活性化検討会議議事要旨

1 日時 平成30年9月6日（木）午後3時00分から午後5時00分

2 場所 西成区安心安全活動拠点「あいステーション」

3 出席者

（有識者）

阪南大学教授 松村嘉久

桃山学院大学准教授 白波瀬達也

近畿大学准教授 寺川政司

（オブザーバー）

釜ヶ崎のまち再生フォーラム事務局長 ありむら潜

（大阪市）

川上西成区役所地域支援担当課長、梅原経済戦略局観光部観光施策担当課長

樽野都市計画局開発調整部地域開発担当課長、安井西成区役所総合企画担当課長

（地域メンバー）

松本萩之茶屋連合振興町会長第8町会長、西村萩之茶屋第1町会長

大倉萩之茶屋第3町会長、福永萩之茶屋連合振興町会女性部長、山田大阪府簡易宿所

生活衛生同業組合理事長、村井西成区商店会連盟会長、西口大阪国際ゲストハウス地域

創出委員会委員長

4 議題

(1) あいりん地域のまちづくり会議における議論の進捗状況について

(2) 前回会議の疑問点・検討事項等について及び駅前の活用等について

(3) その他

5 議事要旨

(1) 寺川准教授よりまちづくりビジョンについて説明。松村教授よりセンター跡地をオープンスペースにして可変的に有効活用する案について提案。

(2) 意見等の概要

・跡地を更地にすることによって、売却しやすくなってしまふ。地域と関係の無いものが来ないように、地域に仕事が生み出されるものを検討できないか。

・にぎわいづくりも、きれいになることも望むが、観光客が増えるばかりで、若い人がまちに定着しないなど、生活面での色々なリスクを考えておかないといけない。

・駅前が稼ぎの場であるが住む環境になっていない。10年後に若い人が住んでいないと、まちの自治が成り立たない。

・福祉マンションが違法民泊に転用されやすい。違法民泊を取り締まりできれば西成

のイメージが変わる。事業化できるなら企業の町会員としてタッグを組む。違法民泊を取り締まって適正化する構想を出せないか。

(3) 今後の対応

新今宮駅前の活用方法については、地域にとって望ましい利用方法やあるべき姿の議論を継続するとともに、実現手法について、モデル事業を実施しながら議論を行う。

6 会議資料

- (1) 「西成特区構想、5年間の成果と次期特区構想についての有識者提言」
- (2) 「あいりん地域まちづくり会議」ニュースレター6
- (3) まちづくりビジョン（素案）